

「新京都大納言」のコンバイン収穫技術の確立

「新京都大納言」はウイルス病に対して抵抗性があるアズキで、製あん特性も優れていますが、草丈が大きく分枝も多いため、従来型のコンバインでは内部で詰まりやすく、収穫が困難でした。

この度、Y社から脱穀部の目詰まりを減らすよう網を改善したコンバインが開発されたことから、「新京都大納言」の収穫可能性について調査を行っています。今年は、梅雨が長引き播種が遅れたため、期待した草丈の大きさが得られませんでした。今回の調査では、茎や葉と一緒に排出されたアズキ粒は少なく、収穫精度は優れていました。



改善された網（上） 収穫状況（左）及び排出アズキ粒調査（右）：11月27日撮影